

事業所名

社会福祉法人 至泉会 あけぼの園

あけぼの園 支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

17 日

法人（事業所）理念		<p>本法人は次の基本理念に基づき、すべての障害を持つ人達の自立支援を行うとともに、日々の生活及び社会参加を通じて、社会的、経済的、文化的その他あらゆる分野の視点に立って生活が送れるようにつとめます。</p> <p>また、常に透明性を確保した運営を行い、更なる地域福祉の発展に貢献します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の有無にかかわらず、個人の尊厳、権利、利益を保障し、平等な社会をめざします。 2. 個性を尊重し、ともに一人ひとりの主体性と可能性を追求します。 3. 一人ひとりの障害に配慮し、幸せと生きがいのある生活の実現につとめます。 4. 個人意向を十分に尊重し、行政、保健医療サービス、福祉サービス、教育、労働などの機関と連携を図ります。 5. 地域ニーズに応えられるよう、施設の機能を積極的に提供します。 							
支援方針		<p>あけぼの園は子どもたちが毎日積極的に通ってきたいと思え、楽しくそして子どもたち一人ひとりの持てる力を充分に発揮できる場でありたいと願っています。</p> <p>そのために、子どもたちの発達に合わせた具体的な支援を実践します。それらをご家族と共有し、子どもたちがご家庭や地域の中でよりよく過ごすお手伝いをします。</p>							
営業時間		9 時	30 分から	15 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※園の送迎バス有り。秦野市内4か所の停留所にて乗降可能。
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日同じ時間に通うことで、生活リズムの安定を図ります。 ・保護者と家庭での健康面（睡眠、食事、排泄等）について情報共有をします。また、検温を実施するとともに、普段と違う様子（表情や動作等）がないかを観察し、健康面のチェックをおこないます。 ・手洗いや手指消毒など、衛生面の動作が身につくように支援します。 ・給食が楽しい時間であることを基本とし、一人ひとりの発達と嗜好や興味に応じた関わり方で食育を進めていきます。 ・発達に応じた着脱や排泄のサポートをします。また、身辺自立に向けて無理のないようスモールステップで経験を積んでいけるようにします。 ・何をするか分かりやすい環境となるよう、テーブルの有無やパーティションで空間分けするなど、活動によって教室内のレイアウトを変更します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動（散歩、公園や広場で遊ぶ等）を行い、体をたくさん動かして遊びます。夏は水遊びを楽しみます。 ・リズムに合わせていろいろな動きをする活動や、音楽に合わせてみんなで一緒に走ったり歩いたりする活動をします。 ・さまざまな設定運動活動（運動器具を使用したり、見本通りの動きをする等）にて、ボディイメージを養ったり、筋肉やバランスをコントロールする力に働きかけます。 ・手や指を使う遊びや活動（おもちゃ、制作、手遊び、手先課題等）をし、手の巧緻性を高め、道具の操作などの向上に繋がります。 ・シーツブランコやバランスボール、ロッキングボールなど、揺れや回転を感じられる活動をします。 ・楽器や音の出る道具やおもちゃを使った活動で、さまざまな音色の違いや音の強弱を楽しみます。 ・砂、粘土、粉、紙、絵具など、さまざまな感触の物に触れる活動をします。また、ふれあい遊びやマッサージなどで触れたり触れられたりする感覚の経験します。 ・感覚の特性（敏感や鈍感）に考慮した補助道具を使用し、安心して活動に参加できるように配慮します。 ・一人ひとりの身長や姿勢に合わせて、座りやすい椅子を用意します。 <p>※作業療法士や理学療法士の助言を基に、活動や設備等を検討します。</p>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・何をするか分かり、納得できたり自主的に行動できるための情報（聴覚、視覚、触覚等を利用）を一人ひとりに合わせた手段で提示します。 ・一人ひとりがマークを持ち、マークのついた物が自分の物であると認識しやすくします。 ・活動のなかに、季節や文化を感じられる要素を取り入れます。 ・型はめブロックや絵本、マッチング（同じ物を選ぶ、重ねる、線で結ぐ等）などを活用し、色や属性、数字や文字、概念などについての興味を広げたり認知力を高めたりします。 ・ブロックやマグネット、粘土などで遊び、構成力や想像力を養います。 ・認知や感覚の偏りによるお子さん自身の決め事などに配慮し、社会的に適切な行動が獲得できるよう支援します。 							

本人支援	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・同じものに注目したり、人の言葉に耳を傾けるなど、コミュニケーションの土台となる意識を育みます。 ・一人ひとりに合ったコミュニケーション手段（指差しやジェスチャーなどの動作、言葉などの音声、絵・写真や実物等）を利用し、発信しやすいように配慮します。 ・大人からお子さんへ働きかける際は、動作やカードなどの視覚情報も取り入れながら分かりやすい言葉で伝えます。 ・紙芝居や絵本の読み聞かせでは、分かりやすい絵や言葉に配慮し、擬音語や繰り返し言葉などの積極的に言いたくなるものを用いたり、簡単な質問に答える場面を設けたりします。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが、大人を信頼でき、安心して園生活を送れるように関わります。 ・お子さんとの遊びや関わりを大人がめいっぱい楽しみます。また、困った時に大人に助けを求められるよう、行動や表情から様子を察して寄り添います。 ・お子さんが「できた」を実感して自己肯定感を高めたり他者と喜びを分かち合ったりできるよう、たくさん褒めたり感謝したりします。 ・大人が寄り添って代弁していくことで、お子さん自身が自分の感情に気づき対処法を知るなど、気持ちのコントロールに繋がる働きかけをします。 ・ふれあい遊びなどにより、人との心地よい関わりを経験できるようにします。 ・大人と一対一で遊ぶ、大人を介してお友だちと遊ぶ、子ども同士で遊ぶなど、一人ひとりの発達段階に配慮しながら人との関わるの場面を設けます。 ・自分の順番を待ったりおもちゃや遊具を交代で使うなど、ルールを学べる機会を設けます。 	
	※主な活動プログラム	<p>○戸外活動（散歩、公園、広場、水遊び等） ○回転や揺れを感じる遊び（シーツブランコ、バランスボール、ロッキングボウル等） ○さまざまな感触を感じる遊び（砂、粘土、粉、紙、絵具等） ○リズム遊び ○楽器 ○運動器具（平均台、鉄棒、ハードル、トンネル等） ○ボール遊び ○制作活動（シール、糊、絵具、クレヨン等） ○手先課題（ブツイン、ビーズ通し、クリップの留め外し、食具、ペンや鉛筆、チャックやボタン等） ○ふれあい遊び ○おもちゃ遊び ○ごっこ遊び ○ルールのある遊び ○手遊び ○歌 ○読み聞かせ（紙芝居、絵本） ○エプロンシアター ○集会（朝の会、帰りの会） ○定期日課（支度、トイレ、給食）</p>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や電話、連絡帳等で保護者に対する相談支援をします。 ・親子登園日にて、保護者がお子さんの集団生活の様子を把握し、情報共有できるようにします。 ・随時見学（短時間でも可）を推奨しています。 ・保護者向けの講演会や勉強会を実施します。 ・保護者座談会にて保護者同士の交流の機会を設けます。 ・児童精神科医の助言を受ける機会を設けます（一人に対して年1回）。 ・保護者の希望に応じて家庭訪問を実施します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣にある公立幼稚園との交流活動で、幼稚園児と一緒に遊ぶ機会があります。 ・希望に応じて、園児の居住地域にある幼稚園との個別交流を実施します。 ・就学に向けて、教育委員会や就学予定先の学校などと連携します。 ・幼稚園や保育園などの移行先に対し、丁寧な引継ぎを行います。また、引継ぎの一環として、希望に応じて併行通園を実施します。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの協力（個人、おはなしボラ、手縫いおもちゃボラ等） ・地区民生委員の来園 ・地域行事への参加（制作展示） ・高校生福祉施設ボランティア受け入れ ・地域施設（公民館や学校）を活用した行事開催 ・地域の他事業所との合同見学会の実施 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する研修（より良い支援のための研修） ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修（事故防止、応急手当、防犯等） ・児童精神科医、作業療法士、理学療法士による助言 ・災害や感染症発生時の業務継続に関する研修および訓練
主な行事等	<p>親子行事：入園のつどい（4月）、保育参加（5月）、運動会（9月）、おたのしみ遠足（11月）、クリスマス会（12月）、卒園式（3月） 園児行事：なつまつり（7月）、ハロウィン（10月）、正月ししまい（1月）、豆まき（2月）、誕生会（毎月） 安全面（訓練）：火災想定避難訓練（毎月）、防犯避難訓練（随時）、浸水想定避難訓練（随時）、地震想定避難訓練（随時） 健康面：身体測定（隔月）、内科健診（年2回）、歯科検診（年2回）</p>		